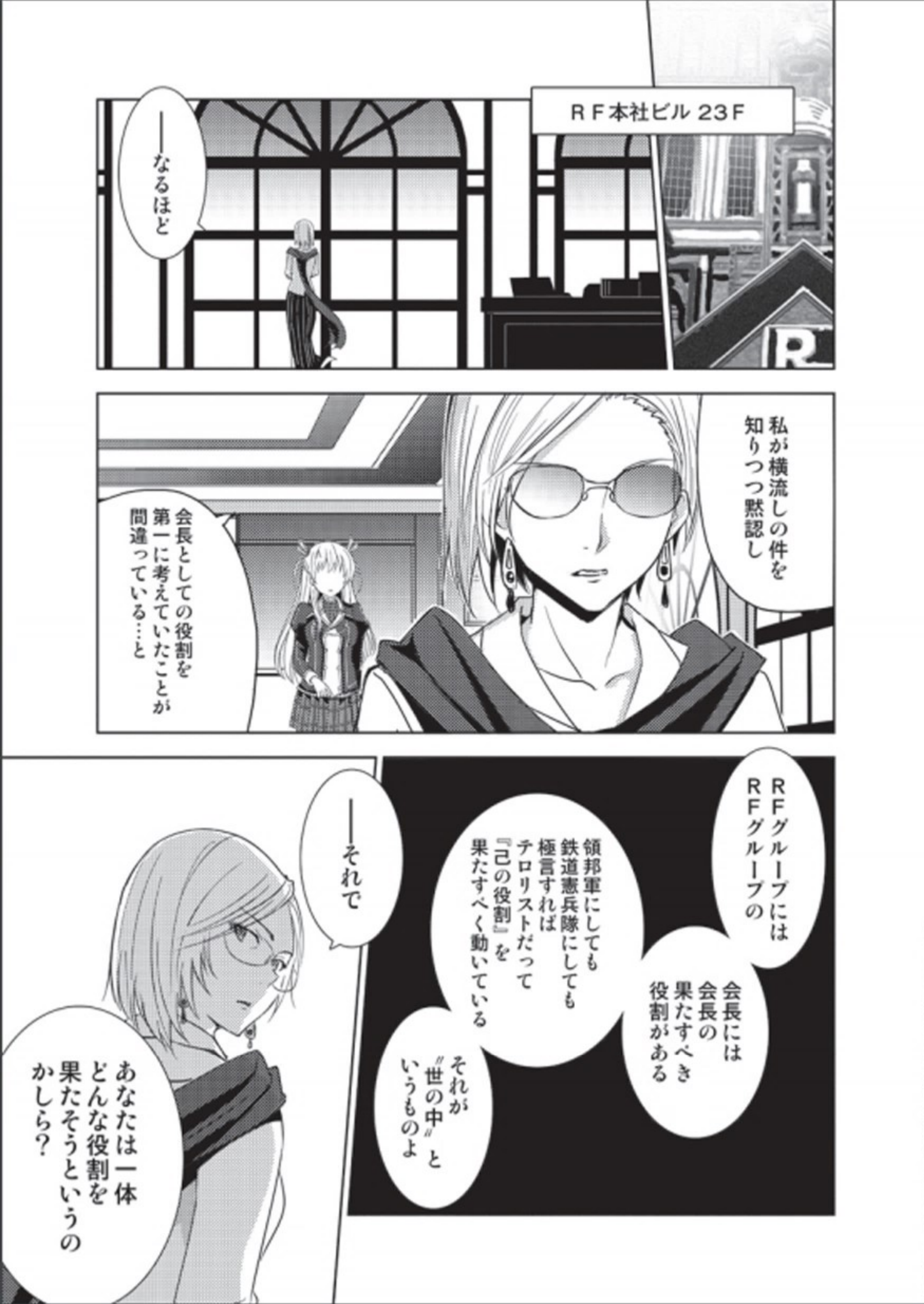
ザクセン鉱山
閃の軌跡
THE LEGEND OF HEROES
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第31話
既にテロリストは鉄鉱山を完全に占拠した！
鉱員たちを人質に取った以上手出しをするわけにはいかん！
だからといって交渉もせずに様子を見るつもりですか!?
彼らは目的を持って行動している――時間を稼がせてはいけません！
ひょこっ
どうやら鉄鉱山はテロリストが完全に占拠してしまったようだな
こそ
でもなんで領邦軍が封鎖してるんだろう?
こそ
あやしーな～
ぶっちゃけグルじゃない?
あの煙…たぶん偽物（フェイク）発煙筒か何かだと思う
え!?

だとしたら領邦軍がここを封鎖したのは…
ラインフォルトの『第一製作所』に関わることかもしれないわ
そうか鉄道憲兵隊が調べていたんだったな?
ああ 連中が隠している〃何か〃がここにあるのかもしれないな
やれやれ
〃気がかり〃が現実になってしまったようだね
ザッ
アンゼリカ先輩…!?
ジョルジュ先輩も…!
よう やっぱり来やがったか
どうやらお互い情報交換をした方が良さそうだね
そういえば第一製作所の取締役はアンゼリカさんの…!
〃ハイデル・ログナー〃…叔父にあたる人物さ
一旦 街に戻ろうか
鉄鉱石の横流し!?
ああ 私のトワが調べてくれてね
トワッ
ここ数年の間ずっと…少量ずつだったから気づかれなかったみたいだ
憶測にはなるが総量は主力戦車…アハツェン2千台分になるそうだよ
そ そんなに!?
カチャ
でも それだけの鉄鉱石を横流ししてどうするの?
う～ん…?
消えた鉄鉱石はともかく
第一製作所の取締役が叔父であり領邦軍が動いている以上私の実家も無関係じゃない
侯爵家の息女としてそんな状況を放っておくわけにはいかないさ
おいおい叔父さんと話を付ける気かよ!?
いや

自分の力でケリを付けてやるまでさ
バイトで稼いだ事もあるから鉱山内部は知り尽くしている
あとは侵入経路さえ見つかれば…
はあ…やっぱりそうなるか
ったく相変わらずだな
──だったら是非俺たちも協力させてください
ガタッ
さすがに放っておけません！
──ありがとう実はちょっと期待していた
協力してくれると助かるよ
…でもアン
領邦軍の裏をかいて鉱山内に侵入する必要があるとなると…
……先輩方
ここは私に任せてください
アリサ…？


RF本社ビル 23F
──なるほど
私が横流しの件を知りつつ黙認し
会長としての役割を第一に考えていたことが間違っている…と
RFグループにはRFグループの
会長には会長の果たすべき役割がある
領邦軍にしても鉄道憲兵隊にしても極言すればテロリストだって『己の役割』を果たすべく動いている
それが〝世の中〟というものよ
──それで
あなたは一体どんな役割を果たそうというのかしら？

い…
今まで私はずっと目を背向けてきた…
お祖父様が会長を追われた時も
ううん 父様が亡くなって母様が仕事に没頭し始めた時から…
でも士官学院に入って世の様々な理不尽を知って……
それでも私は諦めずに少しずつ前に進めたと思う
これは…!?
それがこの半年私たちが手に入れたものだわ！

だから私はもう目を逸らさない
母様の娘として家族として
何よりもラインフォルトを幼い頃から見続けた者として……！
……
…間違っているというからには当然 正しい道を示せるということね？
もちろんよ
いずれ母様の跡を継ぐ――
でもそれを示すには私もまだまだ経験が足りない
だから士官学院卒業までに何らかの道を示すことを誓うわ
ざっ
その可能性がある人間として！

……
……
貴女の言葉としては上出来でしょう
スッ
——これをお持ちなさい
カードキー…?
ルーレ都市上層の外れ 警備室前
ピッ
ガチャッ

まさかルーレ市から鉄鉱山まで直通する連絡道があったとはね
よいしょ…
ゴトッ
導力波のアンテナ…?
これでここでもARCUSが使える
僕はここで司令・中継役としてバックアップしよう
何か情報が入ったらすぐ連絡するよ
お願いします!
この先はテロリストが占拠している鉄鉱山…準備はいいかい?
パッ
はい!!

たたっ
皆 無事!?
ばっ
ガシャッ
ア アリサちゃん…!?
助けに来てくれたのか!
おお! アンゼリカまでいるじゃないか!
知り合い?
キィ
ああ ここでアルバイトしていた以来だけどね
大貴族の嫡女がバイト…!?
身分を隠して働いてたんですって… 先輩らしいわよね
そういえば鉱山長たちは…!?
鉱山長と他の鉱員たちは奥の方へ連れてかれちまって…
たぶん 深層にある採掘機械の操作室(コントロールルーム)に閉じ込められているんだろう
…くっ いてて…

大丈夫ですか!?
怪我してるっぽいね
ど どうする? 怪我人もいるならこのまま置いていくわけにもいかないが
ああ 時間は無いが一旦彼らを連れて街に戻るべきか…
――ったく しゃーねえな
クロウ?
鉱員のオッサンたちはオレが送り届けるからお前たちはこのまま先に進みな
オレだったらひとりでもジョルジュがいる地点まで護衛していけるはずだ
確かにクロウの実力なら任せられるよね!
時々忘れそうになるがこれでも先輩だしな…
ん 妥当な役割分担だと思う
…そうだな よろしく頼む クロウ
おう 任せときな!

だ 大丈夫かしら…
ひとりで…
ああ心配はいらないさあれで頼りになる男だからね
よし！俺たちはこのまま奥へ向かおう！
ええ！
あ！
あそこが操作室（コントロールルーム）だ！
急ぎましょう！
クク…またしてもテメエらが現れるとはなぁ
!!
帝国解放戦線──幹部《V》！
貴方たち…どうしてこの鉄鉱山を？
貴族派とは協力していても一枚岩ではなさそうだし…
この鉄鉱山に何かあったら帝国そのものが危ないのよ!?
まあそうなんだけどよこれも必要な作戦なのさ──
あのクソッたれな鉄血野郎をブッ殺すためにはなァ……
どうしてそこまでオズボーン宰相を憎むんだ…!?
宰相殿の《領土拡張主義》と《鉄道網拡充政策》か…
ギデオンの旦那は譲れない思想的な理由から…
貴様らにはわかるまい…
あの男の改革の元どれだけの人間が故郷を失い生きる寄る辺を追われたか
それ以外にもいろいろだ
スカーレットのやつは鉄道を強引に通されたせいで故郷を失くしたって聞いている

そして俺はまァ
ただの〝逆恨み〟
ってヤツだ
当時の貴族派から
依頼された 宰相に
なり立てのオズボーンを
〝脅しつける〟だけの
任務……
皇帝から直々に任命された
軍部上がりの平民宰相に対して
優位に立ちたかったんだろう
だが俺たちの襲撃は
鉄血に完璧に
見抜かれていた
…あの野郎は
《アルンガルム》の団員を
女子供関係なく
残虐しつくした…！
《鉄血》のクソ野郎を
ブチ殺して部下たちの
弔いをするために…
ヤツを呑み込める
くらい〝ドデカい焔〟に
俺たち自身がなる
しかねえんだッ…!!
ぶわっ

ギギギギ
オオオ
最強ランクの
猟兵だけが放つ
闘気…
こ…
これは…!?
見覚えがある…
猟兵団
《アルンガルム》の
元団長…だね
気を付けろ…！
この男
凄まじく強いぞ！
《VII組》A班
迎撃準備…！
スッ
ジャキッ
ガッ
ヒュン
ヒュン
ヒュン
!!?

ツインブレード…
おまえは…
《C》!!
ザッ
同志《V》──
既に《S》は飛行艇に乗った
ここは私が時間を稼いでおこう
チッ
わかったよ
ガキども
今度会ったら
最高に
愉しませて
やるからよ
ザザッ
ま
待て…!
だっ
!……

くっ
こいつ…
相変わらず
全然スキがない…
君は一体
何者だ?
どうして仮面を
取らない?
フフ……
恥ずかしがり屋
というだけさ
それとも君が無理やり
剥ぎ取ってくれるのかな?
侯爵家息女──
アンゼリカ・ログナー嬢
!!

……
鉱員たちはあの上だ
全員縛ってはいるが命に別状はない…
本当だな…？
それで 君は？
まさか このまま失礼なんて虫のいいことを考えてないだろうね？
フフ…そのまさかだ
!?
カラン

しまった
フェイク――!!
!!?
ピカッ
な何…!?
くっ…
閃光爆弾（スタングレネード）か…！

あいつはどこへ…!?
き 消えた…!?
この音は…!
ガレリア要塞に現れた…!
ラインフォルトの高速飛行艇…!
《帝国解放戦線》の船か…!
ククそれではさらばだ
《Ⅶ組》の諸君 次に会う時までに──
え…
な 何だ…? 爆発…!?

★飛行艇の突然の爆発！裏では一体何が!?

そして今回の事件とガレリア要塞での功績を認められた俺たち《Ⅶ組》のメンバー全員と協力者は
皇帝家や帝国を二分する勢力の領袖たちより労われオリヴァルト皇子の提案でとある褒美を賜ることとなった…
うわあ〜っ…!!
これは見事だ…
温泉郷ユミル… 噂しか聞いたことはなかったが
YUMIR
北の温泉郷《ユミル》
まさに深山幽谷… 素晴らしい"気"に満ちているな
ここがリィン君の故郷かぁ
いいところじゃない〜! 景色を肴に酒が進みそうね♥
ほ… ほどほどに頼みます サラ教官
自分の道を見つけるまではユミルに戻らない
そう思ってここを出たっけな
この半年で少しは成長てきたと思うけど……
今の俺に戻る資格はあるんだろうか…
温泉郷ユミルへよくぞ来てくれた
宿《鳳翼館》
この度は皇帝陛下に拝謁を賜るほどの功績 私からも労わせていただこう
シュバルツァー男爵夫妻
《鳳翼館》の手配等色々してくれたみたいで… ありがとうございました父さん
このくらい当然だ 皆にとって良き小旅行になればいいが…
10年近く前に家族旅行で来たことがありますけどほんといい所ですよね
ええ 温泉ならではの匂いも落ち着きますし
はは 気に入ってくれたようで何より
学院祭も近いからな… 本格的な準備に入る前にみんなとここに来れたのは良かったかもしれないな
ワイ
ワイ
そういえば兄様のクラスの出し物は歌と演奏だとか?
ああ…やっと練習を開始したところでさ
おやつは
ひかえたまえ!

デュエット!?
1曲目ボーカル
なんでこんなに
露出が高いのよ!?
リードギター
演出・総合プロデュース
サイドギター
わ、私が歌ですか
ベース
ドラム
2曲目ボーカル
バイオリン＆キーボード
バックダンサー
最初 みんなの役割を決めた時 ボーカルの３人が異議を唱えたり…
衣装でちょっともめたりもしたけど
ステージが成功するよう みんな努力してるよ……
まとめるの大変だったけど
あと せっかく帝国各地も落ち着いてきたから 学院祭を楽しいものにしたいって みんな思ってるんだ
特にⅦ組は 貴族も平民もいる クラスだから見に来てくれた人達にいい影響を与えられるだろうって…
……どうやら良き仲間と出会えたようだな リィン
父さん
スッ
今のお前なら この宿題を渡しても 問題ないだろう
宿題?

二ヶ月ほど前に お前の師から これを受け取った
手紙… ユン老師から!?
——我が弟子リィンよ
久しく会っておらぬが
元気かの?
わしは今 帝国を離れてのんびりと
大陸各地を放浪しておるところじゃ
気まぐれでそちらに顔を出したが
おぬしの父上のもてなしで出された酒はなかなかにウマかった
それに免じて 次の言葉をおぬしに授ける
おぬしに授けた《七の型》は〝無〟——
そして〝有ること〟と
〝無いこと〟はそもそも同じじゃ
その意味を今一度考えてみるがいい
それではな
おぬしが呑めるようになった頃にでも
また会おう
——ユン・カーファイ
老師は 見抜いて いたんだ
—!
え…?

《七の型》は〝無〟──
〝有ること〟と〝無いこと〟はそもそも同じ
これは老師に弟子入りして最初に教えてもらった言葉だ
俺がいまだにその意味を掴めないでいることを…色々な意味で迷っているということをさ
まぁ仲間と湯にでも浸かりながらせいぜい考えてみるがいい
…はい
……例のテロリストが姿を消してから一ヵ月近くが経つのね…
《帝国解放戦線》…彼らは本当にいなくなったんでしょうか
仮面の男《C》や幹部《S》《V》が乗っていた飛行艇が撃墜され
テロリストは主要なメンバーをまとめて失ったことになる…
他の幹部がいた気配もないし事実上 完全に消滅したと言っていいのかもしれないわ
残党がいる可能性は?
いたとしても幹部たちがいなければ正直 烏合の衆だと思う

結局 あの飛行艇を撃墜した犯人は見つからなかったのかよ?
うーん 今のところどの勢力の仕業かどこも掴めていないみたいだね
クレアやレクターの目を掻い潜るくらいだから相当なヤツだと思うけどねー
各地の貴族派と革新派の対立も陛下が釘を刺したこともあって収まってきてはいるようだが…
それもあくまで表面的なものだろうがな 未だ帝国各地で火種は燻り続けている
帝国の抱えている問題は根本的に解決されたわけじゃないか
まーだからこそ
ほう 君にしては良いことを言うな
〝君にしては〟は余計だっつの
今は学院祭を盛り上げればいいんじゃねーか?
確かにトールズの学院祭は貴族から平民まで様々な関係者が訪れるからね

そうした人たちが同じ空間で同じ楽しみを共有できる…得難いイベントなのは間違いないだろう
それにVII組のみんなは貴族の人も平民の人もいるんだし
そんなクラスが頑張ったら見ている人たちの認識も少し変わるんじゃないかな？
ふむ 我らの頑張り次第で人々の認識を変える…やりがいがありそうだ
うん 僕たちの手で最高のステージを作り上げなくちゃね！
——よーし！それじゃあ景気づけにみんなで乾杯といきますか！
おっ そいつはいいねぇ！
ボクもボクも〜！
学生はお酒は禁止です！

シュバルツァー男爵家
今日くらいこちらでお休みになればいいのに…
すまないエリゼ
今回の帰郷はあくまで陛下のご厚意によるものだから…
なるべく士官学院のみんなと過ごすのが筋だと思うんだ
それはそうですけど…
あ…明日も家に寄ってくださいね!?
ああ おやすみ
くすっ。
ふふ 兄様を避けるように女学院に行ってしまった子はどこに行ったのかしらね？
…確か3年前リィンが養子だったと知った頃合か
ええ…それまでべったりだったのによそよそしくなって…
ふふ でも…学院のお嬢さんたちも素敵でしたし
リィンが…あの子をお嫁に貰ってくれれば万事収まるのですけど
未来がどうなるかは誰にもわかりませんわね

…そうだな
テロリストが自滅したとはいえ根本的な問題は解決していない
子供たちが無事望む〝未来〟を掴めるといいのだが——
ワイ
ダメェ
ワイ
あんたたちものみなさ～い♡
負けたくない
オーラ
ワイ
ワイ
ちょっと汗かいたな…露天風呂に入ってくるか
リィンくん…

今ちょっといいかい？
アンゼリカ先輩？
ひんやりとした外気とお湯の温かさが心地いい……
文字通り頭を冷やすにはうってつけだな
ちゃぷ…
お～さみーさみー！
ガラッ
なんだなんだ貸し切りか～？
クロウ…！

ふぃ〜〜… 生き返るな〜！
なんだか ジジくさいな
ま 最近は なんだかんだで 忙しかったしな
出し物の方針も 決まって俺様も ようやく一息 つけたってわけだ
そうだった… 本当に ありがとうな
気にすんな 可愛い 後輩のためだ
それに 上手くいきゃあ ひと儲けできそー
やれやれ… また何か企んでるのか？ ほどほどにしとけよ
ぬう… 言うように なったな こいつは…
まったく 手のかかる 後輩だぜ
……
え…
さっきから 辛気くせえ顔を してやがるからよ 何か気がかりな ことでも あるんだろう？
あ…その…

アンゼリカ先輩… 学院を辞めるんだってな
それで俺に 導力バイクを 譲りたいって…
ああ… そのことか
頭の固いオヤジさんでね 先月のルーレでの一件で 堪忍袋の緒が キレたらしくてな
勝手に 退学届けを 出されたらしい
先輩は平気そうにしてたけど 絶対そんなことはないはずだ
トワ会長やジョルジュ先輩 クロウたちと別れるなんて…
何よりあんなに 楽しい場所を 離れなきゃ いけないなんて…
……まあな
ゼリカのヤツも ある程度覚悟は してたんだろうが
…わかってる
わかってる つもりだけど… やっぱり やりきれなくてさ
やれやれ… お前がヘコんで どーすんだ

ゼリカも学院祭には
顔を出すっつってるし
出し物を成功させるのが
せめてもの手向けってヤツだぜ
ニニっ
とにかく今は
目の前のことを
精一杯やるしか
ねえだろうが？
クロウ……
ああ
そうだな
今の俺たちに
できるのは
それくらい…
ザパッ
まだ10月
初めなのに…
ん…？
お…おい
リィン…！
雪だぞ…!?
え…!?
★ユミルに起きた突然の異変の正体は――!?

閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第33話
ビュゴオオオ
すごい雪だな…
これじゃ
ケーブルカーも
動かせないって…
これではしばらく
帰れそうにないな
ばっ
た 大変だよ
みんな！
これ 玄関に
あったんだけど…！
実習の封筒…？
≪Ⅶ組≫諸君に特別実習の課題を手配する
ユミル渓谷に赴き 季節外れの積雪を阻止せよ
※リィン・シュバルツァー同行のこと
〝積雪を阻止せよ〟…
どういうこと!?
信じられないが…
どうやらこの異常な雪は
〝何者かの仕業〟らしいな
馬鹿な…

それにしてもこの文面は…
ん どこかで見たパターンのような気がする
さて
どうするのあなたたち？
──行きます
この雪を降らせている何者かが俺たちを呼び出している…
しかも わざわざ名指しまでして…
確証はありませんが確かめないわけにはいきません
…だな
フン ならば準備するか
き 危険ですっ…！
……
エリゼ…？

どんな得体の知れない相手が待っているかわからないのに…
そんな場所に兄様たちを行かせるわけには…！
エリゼちゃん…
大丈夫だエリゼ
〃あの時〃と似た状況だけど…今回はみんながいる
きっと〃あの日〃を乗り越えてみせる…だから良い子で待っててくれ
……！
うんうん！さっそく手分けして調査しよ！
大丈夫！リィンのことは私たちに任せてちょうだい！
……
皆さん…

…精霊の
気配を感じる
まさか何かの
《封印》…？
ニャー
やれやれ
しばらく
ダラダラできると
思ったんだが
フッ 頼もしい
限りじゃないか
なんだか去年の
試験運用を
思い出して
しまうね
うん あの時も
大変だったけど…
《Ⅶ組》は
私たちの時より
ずっといいチームに
育ってくれたのかも
しれないね…
ユミル渓谷道
はぁはぁ…
さすがに
雪山は
キツいわね
真冬でも
ここまでの積雪は
珍しいからな…
出かける前に
男爵が以前にも
同じような事が
あったと言って
いたが…？
ああ…
8年前の
ことだ
その日
俺はエリゼを連れて
渓谷遊びに来ていたんだ

すると
今日と同じように
不意に大雪が
降り始めて…
慌てて里に
戻ろうとした時――
熊型の魔獣に
出くわしてしまった
魔獣と戦う術なんて
何もわからなくて……
とにかく
俺にはエリゼを必死に
魔獣から庇うことしか
できなかった
ウキキキキッ
薄れていく意識の中
近づいてくる魔獣の足音だけが
俺の耳に聞こえてきていた
ドス、
ドス
このままじゃ
エリゼが…！
――その時だった

左胸のアザが
焔のように疼いて…
俺の視界は
真っ赤に染まった
ザシュリ
気がついた時…
俺は血の海に立っていた
その後 すぐに父さんや
里の大人たちが駆けつけてきて
俺とエリゼは無事に保護された
俺の手に握られていたのは
枝払い用に持ってきていた
小さなナタだったらしい
そんなものを使って
あの巨大な魔獣を
切り刻んだんだ
たった
9歳だった
この俺が…
それから俺は
自分の中に眠る
〝力〟を
恐れるようになった
いつまた暴走して
今度こそエリゼや
周りの人々を
傷つけてしまうかも
しれないと…
これが
8年前の出来事…
俺が未だに
克服できていない
〝トラウマ〟っていう
ヤツさ
とんでもねえ
話だな…
リィンが己の
力を恐れる
理由か…

みんなも知っての通り 今でも俺は〃力〃を制御できていない
もしかしたら…… 次はみんなを傷つけてしまうかもしれない
もし そうなったら 俺は……
そんなこと ないわ リィン
フフ そうですね
それより こうして打ち明けてくれたのが素直に嬉しいわ
え……
例え何が起きてもオレたちがそばにいる… そう考えれば何も心配はないだろう?
あ……
ありがとう みんな…

ようやく上流に着いたみたいですね
あら あの石碑は…?
光ってるぞ…!
ピャー
この紋様は… ローエングリン城で見た宝珠(オーブ)を思い出させるが
え!? やだまたオバケ!?
カッ
そうだ 思い出した…!
8年前に大雪が起きる直前… 俺はこの石碑に触っている
その直後に湧き水がみるみる凍り始めて雪が…
その時もこんな紋様が浮かび上がってきたんだ
!?
ゴゴゴゴ
な なんだ…!?

こ…氷の魔獣…!?
もしかしてあの石碑に封印されていたのか!?
!!
パキィン
動けない～～!!
みんな!!
くっ…こんな所でやられるわけにはいかない!
だけどどうすれば……!?
おぬしに授けた《七の型》は〝無〟──
そして〝有ること〟と〝無いこと〟はそもそも同じじゃ
その意味を今一度 考えてみるがいい
ハッ
ドクンッ
──そうだ……
あの〝力〟と同じ
目を背けていてもあれは俺の一部……
『無念無想』──
──まずはあるがままの自分を認める事から……!
スッ

リィン!!
無想
覇斬

フッ
!!
やったわ!
うごける〜!
ヒュウ♪ やるじゃねーか リィン!
雪もやんだ みたいですね!
…いや まだだ
——《怪盗B》!!
いい加減 高みの見物は 終わりにしたらどうだ!

あ…
あの男は…！
フフ
よくぞ我が
正体を見たり――
え…!?
その慧眼には
素直に敬意を
表そう
《身喰らう蛇》が
執行者No.X――
《怪盗紳士》ブルブラン
見知りおき願おうか
士官学院《Ⅶ組》の
諸君？
!!
《身喰らう蛇》…！
あなたの
仕業だな…？
どうして
こんな事を!?
フフ 誤解が
あるようだから先に
断っておくとしよう
私がここに現れたのは
あくまで君たち自身に
興味があったからだ

とりわけ
リィン・シュバルツァー…
――君の〝真実〟にね
何…!?
12年前
ユミルの男爵が
吹雪の中で拾ったという
不自然で謎めいた子供
得体の知れぬ〝力〟に怯え
《剣仙》の指南を受けた
少年――
何と魅力的で
謎めいた
〝真実〟――！
私はそれが
知りたいのだよ
…悪趣味だな
ふざけないで！
リィンの気持ちも
知らないで！
いいんだ
みんな
ブルブラン…
はっきりと
言わせてもらう
あんたには無理だ

〝真実〟を知ることと〝真実〟を得ることは同じじゃない
単なる〝知識〟以上のことを俺たちが特別実習で得たように…
〝真実〟というものは経験や体験を通してしか得られないものだと思う
〝それ〟は俺自身が目を逸らさずに自分と向き合い乗り越えるべきものだ
その過程でしか〝真実〟は生まれずそれ以外のものに興味はない
たとえコソ泥ごときが〝何か〟を見つけたとしても——
それは単なる事実で俺にとっての〝真実〟じゃあない
…なるほど道理だ
だが——〝刻〟は否応なく無慈悲に訪れるもの
その〝刻〟を前にして君たちがどのような〝真実〟を見出すか……
《Ⅶ組》の行く末と共に
せいぜい楽しみにさせてもらおう
ザザアッ
きゃあっ!?
き…
消えた…!?
……
結社《身喰らう蛇》か…
リィン…

どうやら思った以上に底知れない連中みたいだな…
ユミル ケーブル駅前
わい わい
お世話になりました
皆さん ぜひまたいらしてくださいね
皆様にはもっとごゆっくりしていただきたかったのですが…
……
エリゼ 心配しないでくれ
俺はどこにも行かないからさ
え…？
今まで俺はどこか自分を誤魔化していた
自分の中の得体の知れない〝何か〟に畏れるあまりに…
父さんと母さん…そしてエリゼに後ろめたく思うあまりに…
俺は俺を知りたい
それは真の意味で〝リィン・シュバルツァー〟で在りたいからだ
胸を張って お前やみんなと共に在るために…
俺は なんとしても〝真実〟を見つけたいと思う
兄様……
どんなに厳しい〝真実〟だとしてもか？

——はい！ それがどんなものでも受け止められるだけの〝器〟を養ってみせます
《トールズ士官学院》で…… みんなと共に成長することで……！
まもなくユミル山麓行きのケーブルカーが発車いたします
…時間だな
皆様 どうかお元気で……！
ああ 待ってるよ
学院祭… 楽しみにしていますから！
それじゃあ また！
★決意を新たにリィンは故郷を発つ——！

それではこれより学院祭の各種準備設営を始めます！
期限は今日と明日の2日——
みんな ケガをしないよう元気に張り切っていきましょう！
ザワ
ザワ
わぁっ
おおっ！
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：惠村まお
漫画：さがら梨々
第34話
俺たちが学院に帰ると本格的な学院祭の準備が始まった
最近の帝国内はテロリストが壊滅したことで彼らを密かに支援したと見られる貴族派が表立って動きにくくなったらしく……
革新派も 独立問題でクロスベル方面が騒がしくなったことへの対処もあり…
図らずも帝国内における対立はしばし小康状態に落ち着きそうだった
そんな中 俺たちは順調に準備を進め…
……そして
よしっ

ベアトリクス教官に頼まれていた飲食営業許可証は全部渡してきたし
荷物の配送ミスも正せたな
ワイ
ワイ
トワ会長～っ!
すみません発注した資材の到着が遅れてるらしくて…!
わかったスケジュールの組み換えを検討してみるねっ!
ワイ
ワイ
会長はいつにもまして忙しそうだし
ステージのリハーサルは明日…今は少しでもお手伝いしなきゃな
よっ リィン
ワイ
ひとりか?
クロウ!
夕方にステージ衣装が届くまではそれぞれ部活や飾りつけの手伝いをしようって話になったじゃないか
それなんだけどなぁ…衣装はできてるらしいんだが…
?
ブロロロ‥‥
届けられるのが明日になっちまうらしくてな
俺も今 手が離せなくて…
お前 ちょっと帝都のブティックまで取りに行ってこれないか?
ゴオオオ
悪いな委員長手伝いを頼んじゃって
いえいえ 文芸部の文集の準備も大体終わったから平気ですよ
それにステージ衣装でしたら私も他人事じゃありませんし…
ブロロロ‥‥
あ ああ…
……
リ リィンさん!? 何でそこで黙るんですか～!?
その…露出は少なめなんですよねっ!?
ギクッ
んっ!?

ガラ
ガラ
ピィッ
鳥…？
バサッ
青い…珍しいな
いや…今変わった鳥を見かけて…
変わった鳥…？
ああちょっと見たことのないような羽の色で…
パタタ…
瑠璃色というか…真っ青な色をしてたんだ
あっちに飛んでっちゃったけど
え——
ガチャッ
リィンさん？どうしたんですか？
ガラガラ
リィンさん…！少しここで待っててくれますか!?
え!?
!?
ガタッ
すみません…！先に学院に帰ってもらっても構いませんから…！
委員長…!?
どうしたんだ？珍しい鳥に興味があるのか…？
ふふっお安くないじゃない
彼女と喧嘩？
あ——ミスティさん!?
お久しぶり♥

偶然ですね こんな場所で会えるなんて ひょっとして こちらの店に?
にこ♡
ええ ちょっとね 君の方こそ トランク抱えて どうしたの?
ああ これは…
って彼女じゃ ないですから!
ザワ
ザワ
いない…
でも青い鳥だなんて きっと間違いない…!
へえ 学院祭でコンサート! いいわねぇ 面白そうじゃない!
うまく スケジュールが空けば 遊びに行っちゃおう かしら♪
——いっけない あまり時間が ないんだった
それじゃあ またね 明日の放送もヨロシク♥
ガチャー
ええ それでは
あれ…? 《アーベントタイム》の 放送日は明日じゃない よな…?
…リィンさん
委員長! 鳥は見つかった のか?
それが 見当たらなくて… 諦めて戻りました
そうか…
すみません いきなり唐突な 真似を…
はは 委員長が ヘンなのは今に 始まったことじゃ ないからな
うっ… それはそれで 居たたまれなく なるというか…
サラッ
みんな待ってますし そろそろトリスタに 戻りましょうか
今日中に 衣装合わせ しなきゃですしね
ブロロロロ…
ふふ
大きくなった わね…エマ
ハラ…
夜 第3学生寮
衣装合わせを 終えた俺たちは 学院祭準備2日目を 遅くまでリハーサルに 費やした…
この半月余り みんな本当に お疲れさま!
リハーサルも うまくいったし あとは本番 だけだね!

まあ 何とか形になって何よりだぜ
俺の指導で…
ふう… とんでもない半月だったけど
はぁ～
ええ… まさかここまで大変だとは思わなかったわね
貴方もこんな本番間近にいきなり曲を追加しないでほしいわ…
びっくりしたわよ
誰もが知ってるあの歌…
サプライズ＆アンコールは欠かせないからな♪
とか言いながらみんな気に入ってたっぽいじゃねーか
それにしてもエリオット音楽の指導だとスパルタすぎ
別人みたいだったよねー！
あはは…
ご ごめん 良いものにしなきゃって思ったらつい…
そなたの叱責があったから即席の演奏班も何とかまとまったのだろうしな
ああ… きっと良いステージになる
ズーーン…
な 何とか歌の方は形になったとは思うが…
くっ…… 本当にアレをやるのか…？
オラオラ いい加減往生際が悪いっつーの
本番は明後日―― 明日は1日ステージは忘れて学院祭を満喫することにしよう
そうね！
そういえばエマは？
疲れて寝ちゃった
あー… テステス
番組の途中ではありますが臨時ニュースをお伝えいたします
あれ？ この声ミスティさんじゃないか？
ぱあっ
本日午後…
クロスベル自治州で『国家独立宣言』が行われました

これは自治州政府が独断で行ったものであり法的実行力を伴うものではありません
既に帝国政府からはこの独立宣言を断固認めないとの声明が…
――翌朝
ワァァァァァ
――学院生の皆さん そして来場者の皆様方
これより第127回トールズ士官学院学院祭を開催します!
127th Military Academy Festival
どうぞ心ゆくまでお楽しみください!

ステージの練習ばかりでちゃんと見てなかったけど
こんなに飾りつけされていたのね!
わいわい わいわい
でも みんなわりとのんきだよねー クロスベル方面で結構大きなニュースがあったばかりなのに
といっても今すぐここまで何か影響があるというわけでもないからな…
うーん
リィンは今日はどうするのだ?
そうだな…
とりあえず生徒会の手伝いで見回りを…
もう! リィンくん!?
会長!
ぷんぷん
聞いてたよ! 今日はお手伝いなんていいから!

みんなでゆっくり回っておいでよ
ね？
あ…
ありがとうございますトワ会長
それから俺はⅦ組の部活の様子を見たり

各出し物を回って過ごした後…

Ⅶ組メンバーで講堂に運び込まれた楽器や衣装などのチェックを行い
うん これで最終確認はバッチリだね！
あとは明日の本番を控えるのみか…
全員で寮に戻ることになった
それにしても今日は楽しかったねー！
2日といわず毎日やってもいいのにな～！
ん 他のクラスの出し物も面白かった
確かに 思っていた以上に充実した内容だったな
うむ 明日のステージでは全力を出す必要がありそうだ
でもこの状況でお前らの家族は来れんのか？
お偉いさんが揃い踏みだろ？
IBC――《クロスベル国際銀行》が各国から預かる国外資産を凍結するという噂が出てるわね
もしIBCが各国の国外資産を本当に凍結したら帝国のみならず大陸全土でも混乱は避けられない…
さっき連絡があったけど全員いらっしゃるそうよ
サラ教官！
きょ 今日も練習を…
どうしましょう…
まてまて！
こっちはもう現時点での〃ベスト〃が掴めてる
これ以上の練習は蛇足だってモンだぜ
ほんとですか
ええ それよりも明日のステージせいぜい気合いを入れなさい
Ⅰ組のオペレッタだっけ？さっきリハーサルを覗いたけど恐ろしく気合い入ってたわよ？
ああ 今日は早めに休んで明日に備えよう……
…そうだな
ドクン
――時ハ来タ――

★平和な学院祭の裏で蠢くものとは……!?

仕方ないわ
この状況じゃ周囲にどんな被害があるかもわからないし…
学院…いえトリスタにも避難指示を出す必要があるかもしれない
………
この一ヶ月…
俺たち それに他のクラスも学院祭に全てを賭けてきました
単なる意地の張り合いだったり身内への見栄もあるかもしれません
みんなで一緒に何かを成し遂げるのが単純に楽しかったのもあります
だけど——それだけじゃない
俺たちがここにいた〝証〟…それが遺せるかどうかなんです
リィン…
これまで教官や先輩たちに導かれお互い切磋琢磨してきた〝全て〟を込めるためにも…
どうか俺たちに〝明日〟を掴ませてもらえませんか!?

ぼ 僕たちからもお願いします!
フッ できる悪あがきなど知れてはいるだろうが…
それでも可能性がゼロでない限り最後まで諦めたくはありません!
ボクもボクも!これで終わりはやだよー!
元よりこの建物の調査は我らの役目でもありましたゆえ
今回の異常事態についても私たちが調べるのは筋でしょう
あ…あんたたち…
ポウ…
ん?
カチャ
みんなのARCUSが光ってる…?
結界の色と同じ色ですね…?
パァ
それにこれは…
戦術リンクで繋がった時と同じ感覚だ…!

みんなが繋がってる感じ！なんかスゴイね一！
……
ハハ…オレもかよ
スッ
――時ハ来タ――
ピイイイイーー
!!
――サア 示スガヨイ――
これは…旧校舎そのものと共鳴しあっている…？
――ええ 間違いないと思います

そして 俺たちVII組メンバーなら旧校舎の中に入ることができる
!!
――よろしい 現在19時40分
VII組による0時までの探索を許可しよう
！これは…第7層…!?
第6層で終わりではなかったのか…
たった、た…
たぶん この旧校舎の謎を解き明かす鍵があるはずだ
みんな降りてみよう！
ええ！
……

旧校舎　最下層――
この階にも扉が…!?
なんだぁ？あのでっかい赤い宝石は
《起動者》候補ニ告ゲル――
コレナルハ"巨イナルチカラ"ノ欠片――
頭に直接声が…
《起動者》候補ってボクたちのこと!?
巨いなる力…？
手にする資格って…一体どういうことだ!?
……どうやらこの先は尋常ではない場所のようです
カツン

皆さん 覚悟はできていますか？
エ…エマ…？
何かを知っていそうな口ぶりだが…？
俺は――
俺たちはみんなVII組があるからここまで来られた
お互いがお互いを認めて成長しそれぞれの道を目指せるような…
そんな強さを少しは手に入れられたんじゃないかと思っている
みんなとここまでの絆を育めるとは思ってもいなかったが…
うむ。
フン そこの男を認めた覚えはないんだがな？
それは僕の台詞だ!
ラウラ直球すぎ
あはは…
それに委員長もこれだけは自信を持って言えるんじゃないか？
俺たちVII組が…もちろんミリアムとクロウも含めて
"最高のクラス"だって
!

ふふ…
確かに
およそ
クラス分けには
縁がなかった
私ですけど…
Ⅶ組が最高であるのは
自信を持って言えると
思います
だったら 行こう
——この先に
俺たちのクラスが
最高だと
俺たち自身に
証明するために！
スッ
はい！
行きましょう…！
異変を食い止めて
私たちの明日を
掴むために！
ぐにゃあ
きゃ!?
な…なんだ!?
扉が…!!
気をつけて！
取り込まれ
ます…！
ピカッ

ヒュオオオオオオ
わ…私たち…夢でも見てるの…？
!?
ハハ とんでもない場所に飛ばされちまったみてぇだな…
無数の剣 そして槍…
戦場…？

なんだあの巨きなものは…?
ひっ…
さすがに非常識だろう…!
みんな…
これが〝最後の試し〟だ…
俺たちの全力をもってあの巨大な〝影〟を撃破する!!
おおっ!!

俺たちのクラスが最高だと
俺たち自身に証明するために…
俺たちの力で
〝明日〟を掴むために!!

カッ
ハッ
ここは…？
先ほどの扉の前のようだが…
夢…を見ていたのか…？
そうだ…あの巨大な影に俺たちは挑んで…
打ち勝ったはずだ…！
最後に声と…
コレニテ『最後ノ試シ』ヲ終了スル――
《起動者》ヨ 心セヨーー
コレナルハ“巨イナルチカラ”ノ欠片――
何か文字が浮かんで…
世界ヲ呑ミ込ム“焔（ホノオ）”ニシテ
VALIMAR
“顎（アギト）”ナリ――

エマ 今の出来事は…？
おそらく〝幻視〟…現実ではなかったんでしょう
ですが私たちが〝試練〟に打ち勝ったのは確かみたいです
みんな！怪我はない？
教官たち…！
あんたたちよくやったわね！今さっき異変が収まったのよ！
鐘の音も止まったしあの障壁も無くなったんだ
ゴゴ…
おそらく旧校舎内部も今まで通りに戻ってるはずだよ
そうか…
よかった～！

あれ？
扉についてた赤い宝玉がなくなってる…？
ほんとだ…！
ゴゴゴゴゴ
扉が…
開くわ…!!
ゴゴゴ
え……これは——？

士官学院祭 2日目
Academy Festival
ジョルジュ先輩――
それで何かわかりましたか？
旧校舎 地下
いやぁ 調べれば調べるほど 興味深い人形だよ

単なる像じゃなくて 複雑な稼働機構を 備えている…
それと 未知の金属素材が 使われている みたいだ
たまげたなぁ… ゆうべは 夢みたいなとこに 飛ばされるわ
こんなデカブツが 扉の中に 収まってるわ…
その 古代文明の遺物 である可能性は…？
七耀歴以前に あったっつー 《古代ゼムリア文明》 ってやつか
いわゆる〝古代遺物〟は どうやって造ったかも わからないブラックボックス らしいんだけど…
可能性は ありそうだけど… ちょっと違う気も するんだよね
この人形は こだわりのある職人や 技師が仕上げた形跡が あるんだよね

ただそれがいつの時代のどんな職人かはわからなくて…
せめて乗っていた人の手がかりがわかればいいんだけどなぁ
え!?
オイオイこのデカブツ誰かが乗って動かしてたのか?
測定したら胸部に人間がひとり入れるくらいの空間があるみたいなんだよ
マジかよ…
…まいつまでもここにいてもしょーがねーや
そろそろ切り上げて学院祭を満喫しよーぜ?
3人でこれからナンパにでも…
悪いけどこの後妹を案内するから遠慮するよ
チッつれねーなぁ

わい
わい
兄様…どうかしましたか?
少しお疲れみたいですけど…何かあったんですか?
わい
わい
ははは…エリゼにはわかるか
ステージの練習に加えて昨日色々なことがあってさ
色々って…

…あの 兄様
午後のステージもあるでしょうしどうか少しでも休んでください
私はひとりでも…いえ ご迷惑でなければ兄様の面倒を見させて欲しいです
大げさだって
昨日も十分睡眠はとってるし気力も充実している…
下手に休むよりエリゼに学院祭を案内してやりたいんだ
兄様…
エ…エリゼ嬢…!?
やっぱり来ていたのか!
あ…確か ハイアームズ家の…パトリック様
様だなんて他人行儀な呼び方はやめてくれたまえ!
そうだ! もし後夜祭まで残られるのならぜひ僕とダンスを——
シュバルツァー …何のつもりだ
悪いが妹は社交界デビューをまだ済ませていない身だからな
壁。
余計な虫が付かないようにするのが兄貴としての役割でね
虫
ぐぬぬ
こっ…こいつぅぅ
くっ 残念だがそろそろ舞台の準備がある
シュバルツァー! Ⅰ組とⅦ組どちらが上か決着をつけようじゃないか!
ビシッ
ああ 望むところだ
ふふっ…兄妹やっぱり仲がよろしいですね♥

ザワッ
ひ 姫様…!?
オリヴァルト殿下にクレア大尉も…!
やぁ 名目上とはいえ理事長を任されている身だからね
わたくしもわがままを言って何とか連れて来てもらったんです
わたくしは護衛を
何でも《Ⅶ組》はステージで演奏をやるのだとか…
それは楽しみだな 飛び入りとかもOKなのかい?
うず
いやぁ アドリブは難しいかと…
そういえばミュラー少佐は…?
きょろ
ああ…
実は今日クロスベル方面でちょっとした動きがあってね
!
やはりそうですか…
もしかして帝国軍がクロスベルに侵攻…?
いや 心配せずとも戦争にはならないはずだ

正直 帝国とクロスベルでは余りに戦力差がありすぎてまともな喧嘩にすらならない…
本来なら私も今日来るのを控えようかと思ったが…
むしろアルフィンと共に来ることで緊張を和らげられればと思ってね
だから君たちは何とかステージをやり遂げてほしい
何より君たち自身のために—
さて…ステージの準備に行くか
ザッ
あっ…リィンさん
委員長
いよいよ本番ですね
ああ そろそろ衣装に着替えないとな
……ゆうべはきちんと休まれましたか?
大丈夫だよ 委員長こそ

カツン
旧校舎にあった機械人形は今朝ジョルジュ先輩が見てたんだけど…
素材も用途も今のところ不明らしいな
そうですか…
カツン
その…
聞かないんですね私とセリーヌのこと……
！
そして昨日あった出来事を
はは…
俺もさすがに容量オーバーだ
学院祭が終わったら少しは期待していいのかな？
はい…全てを話せる訳ではありませんがある程度ならきっと…
それだけ聞ければ十分さ
よし！午後のステージ…気合いを入れてやり切ろう委員長！
はいっ…！
★最高潮のⅦ組の絆がついに舞台上で披露される！
閃の軌跡
THE LEGEND OF HEROES
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
漫画：さがら梨々
第36話
講堂　控え室
いいんちょ色っぽーい！
うんうん
髪を解いたのは正解だったわね♥
ぶっちゃけエロいね
ううっ…そんなにジロジロ見ないでくださいぃ…

女子は黒でまとめ 男子は白い装束か… 少し露出はあるが 改めて良い衣装だな
女子は華やかにして 男子はビシッと 揃えて決める… いいセンスだろ?
俺が
フン この手の衣装なら 俺は着慣れて なくもないが…
お前が着ると 正直 冗談にしか 見えんな
ほ 放って おいてくれっ! 誰が好きこのんで こんなエセ貴族風の 格好を…!
ねぇ
それにしても Ⅰ組の舞台… すごかったね
ええ まさか あそこまで 気合いが 入っていた なんて…
おいおい お前ら 自信持てって!
コンコン
ガチャ
リィン君たち 失礼するね?
トワ会長! ジョルジュ 先輩も…
ああっ! アンゼリカ先輩!!
フフ…なんとか 間に合った みたいだね
学院祭に 行くために 少しばかり 父と取引してね
許してもらう代わりに 何件か見合いを受ける ことになったのさ
そうだったん ですか…
ぎゅう♡
きゃっ!?
さわ さわ
ん~やっぱり 女の子は いいねぇ♥
ちょ! アンゼリカ さん!!
ダッ♡
よし お次は こちらだっ!
ばた ばた
アン 程々に しておきなよ?
お前 セクハラしに 来ただけかよ…
君たちのステージ 楽しませてもらうよ
だが 気負う必要はない 今の君たちを―― Ⅶ組の全てを ステージに ぶつければいいいさ
――はいっ!
ザワ ザワ…
――お待たせしました
まもなく 士官学院1年 《Ⅶ組》のステージが 始まります!
カッ

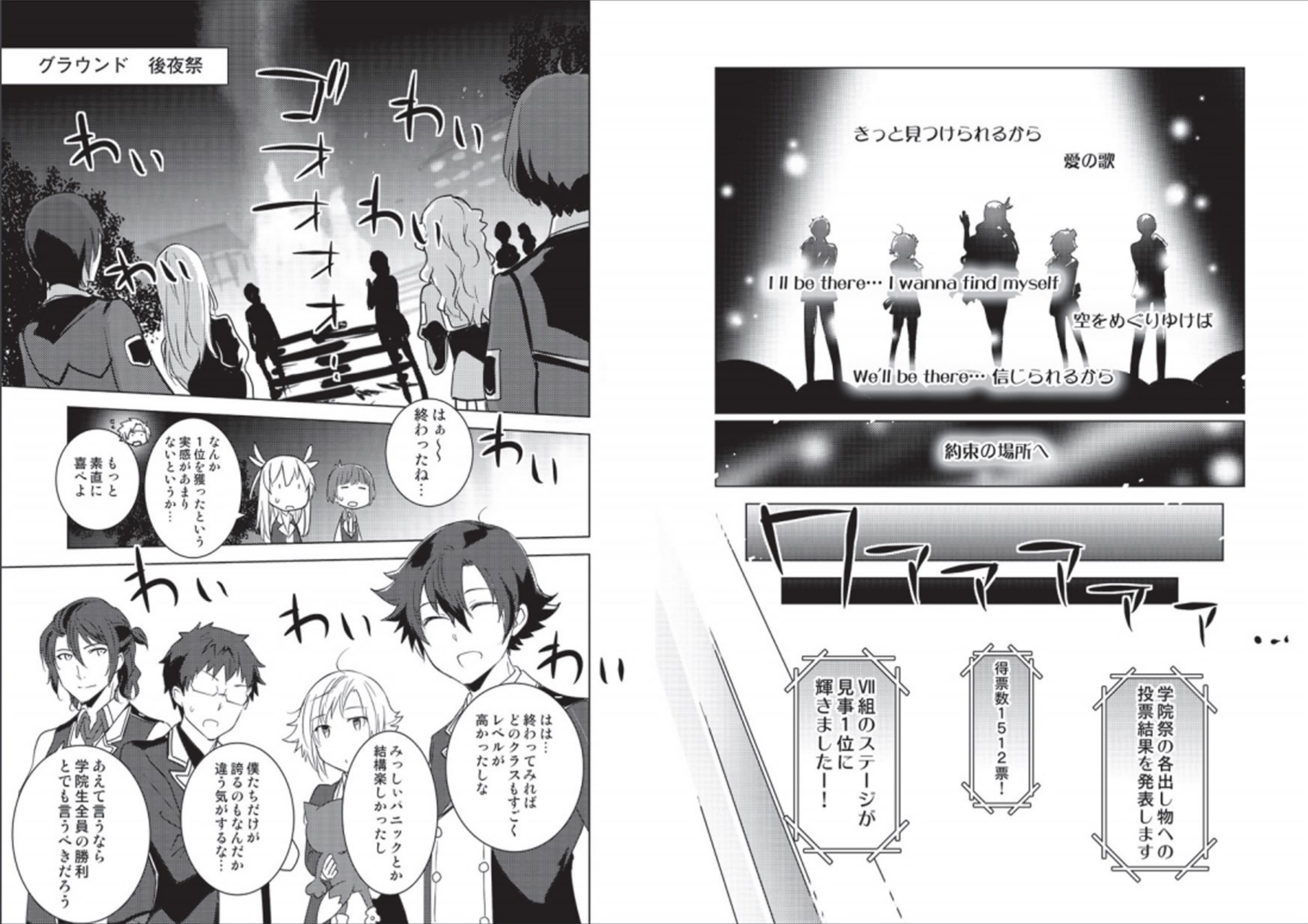
わああああああああ
きゃあーあああ

ててて…
これにて《VII組》のステージを終了します
皆様ご清聴ありが――
アンコール!!
アンコール!アンコール!
え…?えっと…
アンコール!アンコール!
ふえっ…?
スッ
パッ
皆さんご声援ありがとう
アンコールにお応えして3曲目行かせてもらいます

わあああああああ

I swear…
I wanna steer my way 空を…
めぐりゆけば
We'll be there…
きっと会えるから
約束の場所へ…
今ひとつ 思い出した 出逢いの足跡
つま先に香る花
きらめいて 咲き始める 優しい記憶色

それぞれが特別なもの
広くこころを満たす
瞳と涙と そして笑顔たちが
さあ!皆さんもご一緒に!
I swear…
どんなに遠くにいても
たどりゆけば



きっと見つけられるから
愛の歌
I'll be there… I wanna find myself
空をめぐりゆけば
We'll be there… 信じられるから
約束の場所へ
ワァァァァァァ…
学院祭の各出し物への投票結果を発表します
得票数1512票!
Ⅶ組のステージが見事1位に輝きました――!
グラウンド　後夜祭
ゴオオオォ
わい　わい
わい　わい
わい　わい
はぁ～ 終わったね…
なんか1位を獲ったという実感があまりないというか…
もっと素直に喜べよ
わい　わい
わい　わい
はは… 終わってみればどのクラスもすごくレベルが高かったしな
みっしぃパニックとか結構楽しかったし
僕たちだけが誇るのもなんだか違う気がするな…
あえて言うなら学院生全員の勝利とでも言うべきだろう

…ありがとう クロウ
今回のステージでは本当にお世話になった
わい わい
か〜！ ムズ痒いこと言い出すんじゃねーっての！
はは… ここまで盛り上がったからにはまた来年もやりたいな
2年に上がったら《VII組》がどうなるかは聞いてないけど…
そうだな… もしみんなと別れたとしても
くれぐれもダチは大事にしとけよ
え…
ダチってのは学院生活において一番大切な財産みたいなもんだ
今後卒業して離れ離れになってもそいつは絶対に裏切らねえ
そんなヤツをひとりでいいからしっかりと見つけることだな
…クロウでもたまにはまともなことを言うんだな
おいおい お前らと同じクラスなのもそろそろ終わりだし人生の先輩としてありがた〜い助言をだな…
!?
そうか… 来年はクロウもいなくなってるんだよな…
その できれば呼び方はこのままでいいか？
ははっ 当たり前のことをわざわざ確認してんじゃねぇよ
キンッ
そうだ
いい機会だからこいつを返しておくぜ
パシッ
!
これは…！

すっかり忘れてたよ
クロウにはずいぶんいろいろしてもらったと思うんだが…
そりゃお互い様ってやつだ
こう言っちゃなんだが俺が借りたミラを返すのは相当珍しいんだからな？
ま 素直に受け取っておきな
くるっ
あ…
貸して半年くらい経つけど
――そういえば
…やれやれ
利子のほうはどうなってるんだ？
にっ
守銭奴になったじゃねーか
はは…
悪い先輩がいたからな
すっきり清算されるのもちょっと寂しい感じだし…
…どうかな？
ったく甘ったれめ
わーったそのうちにな
ギュッ
もういつまでそこに突っ立ってるの？
アリサ！
そっそういうわけじゃ…
なんだ？リィンと踊りたいってか？
ふむ素直ではないな
わら
わら
ふふ
せっかくの後夜祭ですし踊らないのはもったいないですよね？
わら
え？？
え!??

★大成功の学院祭 しかしその裏では――!?

本日夕刻
東部国境にある
《ガレリア要塞》が
壊滅…
いや 原因不明の
異変により
〃消滅〃してしまった
そうです
THE GARRELIA DISAPPEARED
学院祭から数日――
エレボニア帝国はかつてない
緊張に晒されることとなった
帝国時報に掲載された
ガレリア要塞が巨大な球状に
くり貫かれた報道写真――
それは大半の帝国人を
戦慄させるほどの衝撃だった
さらには
IBCの資産凍結により
帝国経済も混乱を
来たし始め
長年の宿敵である
カルバード共和国が
クロスベルと結託した
という噂も広まっており…
ガレリア要塞という
〃防壁〃を失った帝国に
侵攻してくるのではないかと
まことしやかに囁かれ
始めていた
しかし
信じられ
ないな…
あの巨大な
ガレリア要塞が
〃消滅〃
してしまったとは…
あのでっかい
《列車砲》も消えて
無くなったんだ…
ちょっと
信じられないかも
だが一体
どんな兵器で…?
共和国が侵攻して
くるというのは
単なるデマだと
思うけど…
まったくこんな時に
あのふたりは登校もせず
何をやっているんだ?
クロウ先輩は
いつもの
サボりだろうが
ミリアムは…?
あのふたり
ガチャ
帝都方面も
デモが広まりつつ
あるみたいだし
噂やデマに
惑わされないように
注意しないとね…
おはよう みんな!
待たせたわね
カッ
HR…
といきたいけど
本日の授業は
中止よ
え…!?

何か あったんですか!?
…本日正午 帝都のドライケルス広場でオズボーン宰相が声明を発表するわ
それもエレボニアの全国民に向けて
全国民…!?
このタイミングでってことは…
それぞれの教室でラジオ中継を流すことになったから正午までに教室に戻ってくること
この学院に通う以上君たちは《士官候補生》でもある
有事に判断を問われるのはどんな立場や職業でも同じ…
今は せめて目を逸らさずに起きている事態を見届けなさい
いいわね

バタン。
さて…みんなは一度部活の方に顔を出しに行くみたいだが
ミリアムなら今朝会ったけどクロウはサボりかしらね…
見かけたらふたりにも正午に教室に来るよう言っておいてくれる?
そうだな…俺はふたりを探してみるか
……この旧校舎もあの夜以来〝異変〟は起きてないんだよな
開いてる…!?
ミリアム!

こんなところにいたのか
あれーリィン？あっ そっか授業忘れてたー
おまえな…
キキキキ
キキキキ
この機械人形…何か気になるのか…？
ん－…
やっぱりオジサンに頼まれただけはあるよ
まさかこんなすごいのがいたなんてねー
!?
ちょ…ちょっと待て
〃オジサン〃ってオズボーン宰相のことだよな？
彼がこの人形について何か頼んでいたっていうのか!?
うん 性格にはこの旧校舎のことだけど
何か起こったら報告するように言われてたんだよねー

ってアレこれ機密情報だっけ☆
てへ
ひょっとしてミリアムはこれを調べるために編入したのか？
それもひとつかな？もっと重要な役目もあったけど必要なくなったから
あ！お昼からオジサンの演説が始まるんだっけ！
重要な…？
クロウ？見てないな
その辺ブラブラしてるんじゃないか？
クロウくんなら昨日会ったきりだけど…？
卒業も近いからって貸したものを返しに来てくれて…
え？クロウ？ボクも一緒に探す！
206

寮にもいないねー
…そろそろ正午になりそうだ 諦めて学院に戻ろうか
パトリック…！ 学院に残っていたのか
こんな事態だしてっきり実家に帰ったのかと思ってたよ
シュバルツァー
フン こんな時におめおめ逃げ帰るなど《四大名門》の名折れだろう
ラジオ中継も学院に残った君たちと聴くつもりだ
わざわざ帝都まで足を運ぶとは
そういえばお前たちの先輩はつくづく物好きだな
え…？
あのクロウという先輩だ 今朝 駅前で会ったぞ
《鉄血》の演説を聴きに行くとか言ってたが
演説のためにわざわざ帝都へ…？
……ふ～ん…

ドキドキ
まもなく正午……オズボーン宰相による声明が始まろうとしています
それでは帝都ドライケルス広場の実況レポーターに……
はい こちら帝都ヘイムダル ドライケルス広場のミスティです
おおっミスティさんじゃないか！
ああアーベントタイムのか
ほんとだ
え——
この声…
皆さん…
この喋っている人を知っているんですか？
ぎゅっ
ああ…《アーベントタイム》というラジオ番組のパーソナリティを務めている
ミスティさんって人だが…

★《鉄血宰相》の声明 その時VII組は……次回ついにクライマックス!

どうしたんだ ミリアム？
んー ボクが受けていた 一番重要〝だった〟 任務のお話
もうちょっと 早く気付けばな～
でもまぁ クレアもレクターも オジサンの読みすら 上回ってたし
今回ばかりは クロウの勝ちでも 仕方ないよね
はあっ…？
ど どうして そこにクロウの 名前が出てくるの……？
……
なるほど そういう事か
ミリアム あんたの 目的の一つは 《C》の調査だったのね？
なっ…!?
《C》の行動パターンから 情報局がプロファイリングして 導き出した〝可能性〟のうち 有力な可能性の一つが 『トールズ士官学院の関係者』 というものだったんだ
でも《C》は鉄鉱山の事件で メンバー全員と爆死して その線は消えたと 思ったんだけど
甘かった みたいだね～
……
あの時 クロウは確か 助け出した鉱員を 送っていったのよね…
でも実は 別ルートで 戻って来た…？
仮面と 黒装束をまとって 私たちと戦って…
飛行艇で去ったと 見せかけて 何食わぬ顔で 現れたとしたら…!
馬鹿な…!
ガレリア要塞の時もそうだが 爆発した飛行艇からも 《C》の声が聞こえたのだろう？
声なんて〝録音〟で なんとでもなるわ
爆発した 飛行艇にしても 単純な動きなら 自動操縦できる
そーいうこと
この調子じゃ《C》は もちろん他の幹部も 無事っぽいかなぁ？

だ だったら
クロウは今…？
凄腕の狙撃手に
隙を見せたら終わり
もし鉄鉱山で
飛行艇を撃墜したのが
クロウなら…
これは紛う事なき
『国難』である！
この
ギリアス・オズボーン
帝国政府を代表し
陛下の許しを得て
今ここに宣言させて
いただこう！
正規軍 領邦軍を問わず
帝国全ての
〝力〟を結集し…
クロスベルの〝悪〟を正し
東からの脅威に備えん
ことを――
――言わせるかよ
カチャ

クク…
見事だ《C》…
クロウ・アームブラスト…
ドオオッ
キャアアアアアッ!!
…呆気ないもんだな
これで一区切り…あとは最後の仕上げ——
手を上げなさい!
……

やはり貴方でしたか…
帝国解放戦線リーダー《C》――いいいえ
旧《ジュライ市国》出身クロウ・アームブラスト！

やれやれ
出身は完璧に
偽装できたつもり
だったんだが
クク
アランドールあたりに
嗅ぎつけられ
ちまったか？
よくもー
よくも閣下を！
ま 8年前にジュライが
帝国に併合された時と
同じさ
気を抜いた方が負け…
コイツはそういう
ゲームだろう？
アンタの親玉が
好き〝だった〟な
くっ…
ハッ
あ…
あれは…⁉
ゴオオオオ
なんということでしょう！
たった今
オズボーン宰相が
狙撃されました！
そのまま運ばれて
いきますが…
大丈夫なんでしょうか⁉
ザワ ザワ
そ…
狙撃…？
ザワザワ
おっとなんでしょう
あれは⁉
南の空に銀色の
〝影〟が見えます！
……といっても音だけだと
ロクにわからないでしょうね
なら――
士官学院の皆さんには
学院祭で愉しませてくれた
〝お礼〟をしちゃおうかしら？

スッ
な 何を言ってるんだ……!?
響け 響け
とこしえに――
夜のしじまを破り
全てのものを
美しき世界へ――

!?
な なんだ これは…!?
帝都の広場の映像…!?
貴族連合軍・旗艦《パンタグリュエル》

ザッ
貴族派…！
帝都を占領する気か…!?
ゴォォオオオ…
あ あの兵器は…
貴族連合に取り込まれた『ラインフォルト第五開発部』が完成させた人型有人兵器――
通称《機甲兵(パンツァーゾルダ)》ってやつだ
動かないでーー！
そいつは出来ないな バルフレイム宮は《西風》に任せるとして――
俺は俺のケジメをつける必要が――…
あるんでね！
ゴォオオオ
なっ
しまっ…！
え…
――じゃあな《氷の乙女(アイスメイデン)》殿

なんとも素晴らしい歌声だった
パチ
パチ
パチ
パチ
さすがは使徒・第二柱《蒼の深淵》ヴィータ・クロチルダ殿
クロスベルの鐘は鳴らされこちらの準備も完了したわ
『オルフェウス最終計画』が第二幕『幻焔計画』――
〝第二楽章〟をはじめましょうか

今見えた映像は…本当のことなの…？
ザザー……
はい…
《深淵の魔女》と呼ばれる私の〝身内〟の得意技…特定のイメージを歌声に乗せて遠くに届ける事ができるんです
今の映像はラジオを通して士官学院の皆さんに見えるように…
ザワ…
あぁあのミスティさんが魔女…!?
エマの身内…？
ま その事についてはとりあえず置いときましょう
問題は宰相が狙撃されて…
帝都が占領されたことだわ
！

まさか今ごろ父さんも…!?
あの巨大な飛行船に《機甲兵》という兵器… 用意したのは間違いなく《貴族派》というわけか…
クロウ どうして…
はい あっ ナイトハルト教官… なんですって!?
PRR
わかりました 西口ですね!
すぐ行きます!
少し出かけてくるわ! 君たちは絶対に学院から出るんじゃないわよ!
バタ バタ
きょっ
教官…?
どうしたんだ…?
…西の方から何かが近づいて来ているな
装甲車数台に この駆動音は… あの人型兵器も来てるね
ええ!?
ま まさか…
帝都に続いて トリスタまで…
というより この学院を押さえるつもり!?
んー 貴族派 革新派の子弟とか 学院長みたいな重鎮もいるし 保護するか人質にするとか?
なっ
ふざけるな…っ!
もしかして 教官たちはそれを 食い止めるために…?
微かだが 帝都の反対方向 からも来ているな
リィン!
俺たちでも できることを するんだ…!
ああ!
さっき教官は 西口に行くと 言っていた…
俺たちは東へ 向かおう!
お前たち どこへ…!
いったい何が あったんや!?
バタ バタ バタ
どうか学院内にいてくれ! 他のクラスと協力して 士官学院を守るんだ…!
……
住民の皆さん! 安心してください!
講堂へ避難を!
ザワ ザワ

トワ会長！
ガラッ
リ リィン君たち!?
ま まさか…
打って出る気かい!?
まいったな… 君たちが来たら止めろって教官たちに言われてるのに…
俺たちが必ずこの学院を守ってみせます
そして…
クロウにも真意を問いただしてみせる…！
……
今にして思えばクロウ君はいつも事件の現場にいたんだね…
テロリスト…《C》… まさかあいつが鉄血宰相を狙撃するなんて…
この学院を襲撃しようとしているだなんて…

…去年 テスト実習でクロウと初めて出会って
最初は人当たりはいいのにどこか虚ろなやつだって印象だった
でもすぐにアンがそれを真正面から言い当てて…
えへへ… 最初の頃は衝突もあったよね
でも実習を通じて少しずつ仲良くなっていったんだ
…どうしてこんな事になっちゃったのかな…
会長… ジョルジュ先輩…

…わかったよ
生徒会長として
許可します
どうか頑張って…！
アンちゃんや学院の皆…
クロウ君の友達である
私たちの分まで…！
はい…！
トリスタ西口
ひっ…
む 無茶だ
こんな化物ども
相手に…！
隊長…！
さすがに無理で
あります！
ぐっ…
貴様ら本当に
人間か…!?
結社《身喰らう蛇》に
所属する最高位の
エージェント…
執行者No.IX
《死線》のクルーガー！
フン あんたが
助太刀に来るなんて…
やっと正体を現したわね
そちらの方は
休業中です
今のわたくしは
ラインフォルト家の
使用人——
彼らの背後に誰が
いようとお嬢様の
場所を守るだけです
やれやれ
帝国男子として
ワシらも負けて
おれんのう
いや〜装甲車を
袈裟斬りする
学院長も相当だと
思いますけどねぇ
一体ずつ確実に
潰していきましょう！
解析完了——
これより対アーツ
装備を無効化する

トリスタ東口
あらあら…
東口は貴方たちが守るつもり？
へぇ…少しは楽しませてくれそうじゃない
その嫌味っぽい声…
帝国解放戦線の《S（スカーレット）》か！
――状況開始《Ⅶ組》総員 これよりトリスタ東口の防衛を開始する！
おう！

絶対に守ってみせる
トリスタも
学院も
仲間も――！
リィン君たち…
絶対に死んじゃダメなんだからね…!!
ハァ
ハァ
あの機械人形…こちらの攻撃が全部跳ね返される……!?
そ そんな…
ブーブー
そんなの反則だよ～！

アリサ!!
《第五開発部》…
なんてものを作ったのよ…
フ
リィン!?
多分…
限界まで引き出せば命はないだろう…
だがそれでも皆を…
大切なものが守れるなら…!
ぎゅっ
ドクン
汝、力を求めるか？
我が選び、汝が選べば《契約》は成立する——

求めるのであれば我が名を呼ぶがいい——
"焔"を刻まれし者…
《起動者(ライザー)》よ
チリン
——どうやら全ての条件が揃ったみたいね
アンタはもう〝彼〟の名前を知っているはず——
そうだ…
確かに俺は知っている…
〝彼〟の名を…
懐かしさすら覚えるあの名前を…

来い――
《灰の騎神》
ヴァリマール!!

ふえぇっ!? あれ…旧校舎の機械人形!?
飛んでる!?
!!!
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
最終話
《灰の騎神》ヴァリマール
これは…帝国に伝わる巨大な騎士の伝承の正体…？
巨いなる力を体現する〝器〟の一つ…《灰の騎神》ヴァリマール…!

この人形…リィンの呼びかけに応えて来たの…？
なっ…!? 話が違うわ…
まだ動かないはずじゃ…！
パッ
ヴァリマールの中…？
ここは…
でも初めてじゃないみたいだ…操作を身体が覚えている…？
《起動者(ライザー)》となった時点で基礎知識は入ってくるからね
ピッ
ピッ
セリーヌ!? お前しゃべれるのか!?
一緒に乗ってるし!?
ちょこん。
あーはいはいそんなことはいいから
今は
それより来るわ！備えなさい！
フッ 想定外だけど武器もなさそうね…
もらったわ!!
ザッ
……
ス
ガッ
!?
…よしやれそうだな
今のは八葉一刀流〝無手〟の型…！
リィンがこの人形を動かしているのか…!?

それ以上の戦いは無意味だ！
西口を攻めている連中とまとめて撤退してもらうぞ！
そうだそうだー！とっとと行っちゃえー！
すごいわリィン…！
そんな…
オイオイ…何か忘れちゃいねえか？
この声は…！
キィイイイイイ
来るぞ——！
《蒼の騎神》オルディーネ
蒼い騎士人形…！
《蒼の騎神》…！
‥
あいつが〝起動者（ライザー）〟だったなんて……！

クロウ…
クロウなのか!?
ああ 久しぶりだな――
って昨日の夜 一緒にメシを食った ばかりだったか
――だが
ずいぶん遠くに来ちまった気がするぜ
どうして…何故こんな事を!?
宰相を撃ったのもクロウなのか!? それにその人形は…!?
そもそも士官学院に入ったのは《帝国解放戦線》の計画のためでな
いずれ《鉄血》の首を狙う時の足場にするつもりだったわけだ
まあ予想以上に楽しんじまって失った青春を謳歌しちまったが…
俺の本分は《C》――
ッ――
ふざけるなッ!
学院生クロウ・アームブラストはただの〝フェイク〟さ
俺たちと一緒に過ごした時間も!
トワ会長やアンゼリカ先輩ジョルジュ先輩との関係も!
ぜんぶ偽物だって言うのかよ!?

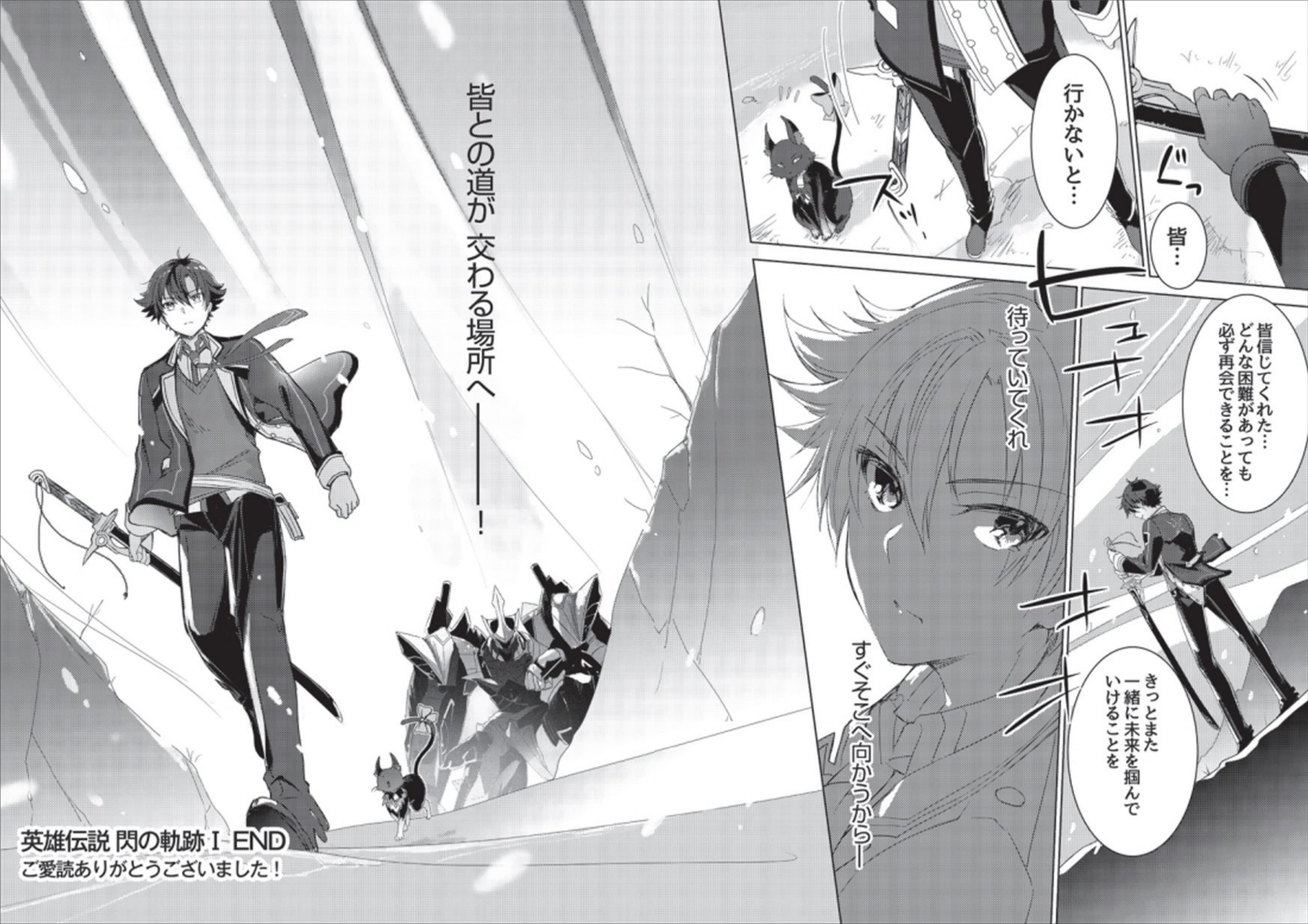
あの学院祭のステージも――
嘘だったって本気で言うのかよ!!
それは…
ああ――その通りだ
ニッ
スッ
そろそろケリをつけようじゃねぇか?
悪いがその《灰の騎神》に粘られると後々面倒なんでな 士官学院ともどもここでブッ壊させてもらう
ザッ

お前らを含めた学院関係者はまあ全員軟禁ってトコか
そうか――
だったら… 俺が勝ったらどうするつもりだ?
スラッ
っ……
俺が勝ったら50ミラの利子を耳を揃えて返してやるよ
…なんなら今度はお前の後輩になってやってもいいぜ?
わかった それで行こう
言っておくけど利子は莫大だからな?
そして後輩は先輩の言うことに従うのが筋だ… 戻ってきてもらうぞ ――クロウ

…ナマ言いやがって
だがまあ…そのあたりが
落とし所ってヤツだな
死ぬことになるぜ
リィン!!
……
殺す気でかかってきな
でなきゃ——
クロウッ……!!

ヒュオオオ
ん…
ヒュオオオオオ
チリン、、
こ…ここは…?
——ようやくお目覚めね リィン・シュバルツァー
まったく一ヶ月も眠り続けるなんて…お世話した身にもなってほしいわ
消耗が激しかったから仕方ないけどね
セリーヌ…!? 一ヶ月って…!?
俺は一体…確か今まで戦ってて…
なんでこんな雪山に…?
クロウは…皆は……?
あんたはあの男に敵わなかった…
いえ騎神に乗り慣れたあいつとじゃ力の差は歴然だったわ
トッ

あれ以上の戦闘は危険と判断しヴァリマールごと戦域から離脱してここまで来たの
あんたは助けられたのよヴァリマールと…
Ⅶ組に
あ…
リィン！しっかりして！
皆で決めたの！貴方をここから逃がそうって！
ここは私たちが食い止める…!!
ザッ
俺という人間を変えたほどの男が…こんな所で倒れることは許さん
これからきっと内戦となる…だがお前とその〝灰の騎神〟は必ずやその流れを変える〝風〟となってくれるだろう！
リィンさんならきっと乗り越えられると信じています…！ここは私たちに任せて…！
大切なものを守るために僕も頑張って戦い抜いてみせるよ…！
チャキッ
リィンを…皆という家族を絶対に守ってみせるから…
皆のことを思うと体の奥からどんどん力が湧いてくる…仲間っていいもんだね リィン…！
この〝剣〟は決して折れぬ！
そなたともう一度会うまではな…！
だから…約束しようお互いに必ず生きて戻ると…！
生きてリィン…!!
私たちが貴方の〝道〟を切り拓く…！


ぐっ
皆…
行かないと…
ズッ
皆信じてくれた…
どんな困難があっても
必ず再会できることを…
ヒュオオオオ
待っていてくれ
きっとまた
一緒に未来を掴んで
いけることを
すぐそこへ向かうから――
皆との道が 交わる場所へ――！
英雄伝説 閃の軌跡Ⅰ END
ご愛読ありがとうございました！